

vSphere Replication 8.1 用 vRealize Orchestrator プ ラグインの使用

vSphere Replication 8.1



vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>) にあります
このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴィエムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

Copyright © 2018 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

目次

- 1 vSphere Replication プラグインの使用 4
- 2 vSphere Replication 用の vRealize Orchestrator プラグインによる自動操作 5
- 3 vSphere Replication プラグインのインストール 7
 - 機能前提条件 7
 - vSphere Replication プラグインのインストール、アップグレード、およびアンインストール 8
- 4 vSphere Replication プラグイン ワークフローの使用 9
 - vSphere Replication プラグインで使用可能なワークフロー 9
 - vSphere Replication プラグインを使用するための前提条件 12
 - リモート サイト管理ワークフロー 12
 - 同期ワークフロー 17
 - レプリケーションの構成ワークフロー 21
 - 一時停止ワークフロー 26
 - 再開ワークフロー 27
 - レプリケーションの停止ワークフロー 29
 - クラウドへのリカバリ ワークフロー 30
 - クラウドからのリカバリ ワークフロー 34

vSphere Replication プラグインの使用

「vSphere Replication プラグインの使用」では、VMware vSphere Replication 用の VMware® vRealize Orchestrator プラグインの構成と使用に関する情報および注意について説明します。

対象読者

「vSphere Replication プラグインの使用」の情報は、vSphere Replication プラグインを使用して vSphere 環境でレプリケーションおよび構成タスクを自動化する熟練管理者向けです。この情報は、仮想マシン テクノロジー、vRealize Orchestrator のワークフロー開発、および VMware vSphere Replication を理解した熟練ユーザー向けに作成されています。

vRealize Orchestrator の詳細については、『vRealize Orchestrator のドキュメント』を参照してください。

vSphere Replication の詳細については、『VMware vSphere Replication のドキュメント』を参照してください。

vSphere Replication 用の vRealize Orchestrator プラグインによる自動操作

2

vSphere Replication 用の vRealize Orchestrator プラグインは、特定の vSphere Replication 操作の自動化機能を拡張します。

vSphere Replication プラグインには、vSphere Replication API の選択された要素をワークフローに公開するための vRealize Orchestrator のアクション、ワークフロー、およびスクリプト作成オブジェクトが含まれています。このプラグインを使用すると、仮想マシンのレプリケーション構成の自動化、移行と実際のリカバリの実行、ローカルサイトとリモートサイトの管理、および仮想マシン データの同期を行うことができます。

このプラグインは、レプリケーションを構成および管理するためのアクションとワークフローを提供します。

- ターゲット vCenter Server またはクラウド サイトへの仮想マシンの正方向レプリケーションを構成する。
- ターゲット vCenter Server またはクラウド サイトからの仮想マシンの逆方向レプリケーションを構成する。
- ターゲット vCenter Server またはクラウド サイトへの仮想マシンの正方向レプリケーションを一時停止、再開、または停止する。
- ターゲット vCenter Server またはクラウド サイトからの仮想マシンの逆方向レプリケーションを一時停止、再開、または停止する。

このプラグインは、リカバリを実行するためのアクションとワークフローを提供します。

- ターゲット クラウド サイトとの間で計画移行を実行する。
- ターゲット クラウド サイトとの間で実際のリカバリを実行する。
- ターゲット クラウド サイトとの間でテスト クリーンアップを実行する。
- ターゲット クラウド サイトとの間でテスト リカバリを実行する。

このプラグインは、リモートサイトを管理するためのアクションとワークフローを提供します。

- ローカルサイトとターゲット vCenter Server またはクラウドサイトをペアリングする。
- スタンドアロン組織、クラウド、または vCenter Server サイトを登録する。
- スタンドアロン組織、クラウド、または vCenter Server サイトを登録解除する。

このプラグインは、仮想マシン データを同期するためのアクションとワークフローを提供します。

- ターゲット vCenter Server またはクラウド サイトへの完全な同期。
- ターゲット クラウド サイトとのオフライン同期。
- ターゲット vCenter Server サイトへのオフライン同期。

- ターゲット クラウド サイトとの間でレプリケーションを同期する。
- ターゲット vCenter Server サイトに対してレプリケーションを同期する。

vSphere Replication プラグインのインストール

3

ローカル vSphere Replication サイトでワークフローを作成して実行するには、vSphere Replication プラグインを vRealize Orchestrator にインストールして構成する必要があります。

この章では次のトピックについて説明します。

- [機能前提条件](#)
- [vSphere Replication プラグインのインストール、アップグレード、およびアンインストール](#)

機能前提条件

vSphere Replication プラグインをインストールおよび使用するには、システムが特定の機能前提条件を満たす必要があります。

vSphere Replication

使用する vSphere Replication プラグインのバージョンと vSphere Replication に互換性があることを確認します。

vSphere Replication プラグインと vSphere Replication との互換性の詳細については、『VMware vRealize Orchestrator Plug-In for vSphere Replication 8.1 リリース ノート』を参照してください。

vSphere Replication のセットアップの詳細については、『vSphere Replication のインストールと構成』ドキュメントを参照してください。

vRealize Orchestrator

vRealize Orchestrator のインスタンスが実行中で、そのバージョンが vSphere Replication および vSphere Replication プラグインのバージョンと互換性があることを確認します。

vSphere Replication と Orchestrator との互換性の詳細については、『vSphere Replication 8.1 Release Notes』および『Compatibility matrices for vSphere Replication』ドキュメントを参照してください。

vRealize Orchestrator のセットアップ、Orchestrator クライアントへのログイン、使用可能な認証方法の詳細については、『VMware vRealize Orchestrator のインストールと構成』ドキュメントを参照してください。

その他の前提条件

- vRealize Orchestrator 用の vCenter Server プラグインがインストールされていることを確認します。
vRealize Orchestrator ドキュメントの「vCenter Server プラグインの使用」トピックを参照してください。

- vCenter Server の追加ワークフローを使用して、レプリケーションに使用するすべての vCenter Server インスタンスが追加されていることを確認します。詳細については、vRealize Orchestrator ドキュメントの「Configure the Connection to a vCenter Server Instance」トピックを参照してください。

vSphere Replication プラグインのインストール、アップグレード、およびアンインストール

vSphere Replication プラグインを使用するには、最初に Orchestrator インスタンスにインストールします。

vSphere Replication プラグインは、vSphere Replication および Orchestrator と互換性があるバージョンをインストールする必要があります。

vSphere Replication プラグインのインストール

Orchestrator インスタンスが vSphere 環境と連携するように構成されている場合は、vSphere Replication プラグインをインストールできます。

vSphere 環境を使用するには、Orchestrator を構成する必要があります。vSphere 環境に対応するように Orchestrator を構成する方法の詳細については、『VMware vRealize Orchestrator のインストールと構成』ドキュメントの「vRealize Orchestrator の構成」セクションを参照してください。

vSphere Replication のダウンロードページから vSphere Replication プラグインのインストールファイル **.vmoapp** をダウンロードできます。

vSphere Replication 8.1 プラグインを vRealize Orchestrator 7.4 にインストールするには、

https://<your_orchestrator_server>:8283/vco-controlcenter 構成インターフェイスを使用します。[プラグインの管理] をクリックして、ファイルをアップロードしてください。Orchestrator プラグインの管理方法の詳細については、『VMware vRealize Orchestrator のインストールおよび構成』ドキュメントの「Orchestrator プラグインの管理」トピックを参照してください。

vSphere Replication プラグインのアップグレード

以前のバージョンをアンインストールして新しいバージョンをインストールすると、vSphere Replication プラグインをアップグレードできます。

注意 vSphere Replication プラグインをアップグレードした後に以前のバージョンに戻すには、再インストールする必要があります。

vSphere Replication プラグインのアンインストール

vSphere Replication プラグインのアンインストールの詳細については、[プラグインのアンインストール](#)または VMware ナレッジベースの記事 (<https://kb.vmware.com/s/article/2064575>) を参照してください。

vSphere Replication プラグイン ワークフローの使用

4

vSphere Replication プラグイン ワークフロー ライブラリには、vSphere Replication タスクの自動化に使用できるワークフローが含まれています。事前定義済みのワークフローを使用して、仮想マシンのレプリケーションの構成と管理、リモート サイトの追加/ペアリング/削除、テストの実行、リカバリ、クラウド サイトとの間でのクリーンアップを行うことができます。プラグインの事前定義済みのワークフローとスクリプト作成 API を使用すると、カスタム ワークフローを作成できます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Replication プラグインで使用可能なワークフロー](#)
- [vSphere Replication プラグインを使用するための前提条件](#)
- [リモート サイト管理ワークフロー](#)
- [同期ワークフロー](#)
- [レプリケーションの構成ワークフロー](#)
- [一時停止ワークフロー](#)
- [再開ワークフロー](#)
- [レプリケーションの停止ワークフロー](#)
- [クラウドへのリカバリ ワークフロー](#)
- [クラウドからのリカバリ ワークフロー](#)

vSphere Replication プラグインで使用可能なワークフロー

vSphere Replication プラグインは、レプリケーションの構成/一時停止/再開/停止ワークフロー、クラウドからのリカバリ ワークフロー、クラウドへのリカバリ ワークフロー、リモート サイト管理ワークフロー、および同期ワークフローを提供します。

表 4-1. [リモート サイト管理] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
vCenter Server サイトとのペアリング	ローカル サイトをリモート vCenter Server サイトに接続してペアリングする
クラウド サイトとのペアリング	ローカル サイトをリモート クラウド サイトに接続してペアリングする
クラウド サイトの登録	ペアリングされたクラウド サイトのログイン認証情報を登録する

表 4-1. [リモート サイト管理] ワークフロー (続き)

ワークフロー	操作の説明
スタンドアロン組織の登録	ペアリングされたスタンドアロン組織のログイン認証情報を登録する
vCenter Server サイトの登録	ペアリングされた vCenter Server サイトのログイン認証情報を登録する
クラウド サイトの登録解除	ペアリングされたクラウド サイトの保存されたログイン認証情報を削除する
スタンドアロン組織の登録解除	ペアリングされたクラウド サイトの保存されたログイン認証情報を削除する
vCenter Server サイトの登録解除	ペアリングされた vCenter Server サイトの保存されたログイン認証情報を削除する

表 4-2. [同期] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
クラウドへのレプリケーションの完全同期	レプリケートされた仮想マシンのクラウド サイトへの初期完全同期を実行する
vCenter Server へのレプリケーションの完全同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート vCenter Server サイトへの初期完全同期を実行する
クラウドからのレプリケーションのオフライン同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート クラウド サイトからのオフライン同期を実行する
クラウドへのレプリケーションのオフライン同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート クラウド サイトへのオフライン同期を実行する
vCenter Server へのレプリケーションのオフライン同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート vCenter Server サイトへのオフライン同期を実行する
クラウドからのレプリケーションの同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート クラウド サイトからの差分同期を実行する
クラウドへのレプリケーションの同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート クラウド サイトへの差分同期を実行する
vCenter Server へのレプリケーションの同期	レプリケートされた仮想マシンのリモート vCenter Server サイトへの差分同期を実行する

表 4-3. [レプリケーションの構成] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
レプリケーションの構成	ローカル サイトからターゲット vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを構成する
クラウドからのレプリケーションの構成	ターゲット クラウド サイトからローカル サイトへの仮想マシンのレプリケーションを構成する
クラウドへのレプリケーションの構成	ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを構成する
複数の仮想マシンの保護	ターゲット クラウドまたは vCenter Server サイトへの複数の仮想マシンのレプリケーションを構成する
クラウド レプリケーションの反転	ターゲット クラウド サイト上のリカバリされた仮想マシンのレプリケーションを反転する

表 4-4. [一時停止] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
クラウドからのレプリケーションの一時停止	クラウドからローカル サイトへの仮想マシンのレプリケーションを一時停止する
クラウドへのレプリケーションの一時停止	ローカルからターゲット クラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを一時停止する
vCenter Server へのレプリケーションの一時停止	ローカル サイトからリモート vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを一時停止する

表 4-5. [再開] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
クラウドからのレプリケーションの再開	クラウドからローカル サイトへの仮想マシンのレプリケーションを再開する
クラウドへのレプリケーションの再開	ローカルからクラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを再開する
vCenter Server へのレプリケーションの再開	ローカル サイトからリモート vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを再開する

表 4-6. [レプリケーションの停止] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
レプリケーションの停止	ローカル サイトからリモート vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを停止する
クラウドからのレプリケーションの停止	クラウド サイトからローカル サイトへの仮想マシンのレプリケーションを停止する
クラウドへのレプリケーションの停止	ローカル サイトからクラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを停止する

表 4-7. [クラウドへのリカバリ] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
クラウドへの計画移行の実行	ローカル サイトからターゲット クラウド サイトに仮想マシンを移行する
クラウドへの実際のリカバリの実行	ローカル サイトからターゲット クラウド サイトにレプリケートされた仮想マシンをリカバリする
クラウド サイトでのテスト クリーンアップの実行	ターゲット クラウド サイトのレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリ結果をクリーンアップする
クラウドへのテスト クリーンアップの実行	ターゲット クラウド サイトにレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリ結果をクリーンアップする
クラウド サイトでのテスト リカバリの実行	ターゲット クラウド サイトにレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリをターゲット クラウド サイトで実行する
クラウドへのテスト リカバリの実行	ターゲット クラウド サイトにレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリをローカル サイトで実行する

表 4-8. [クラウドからのリカバリ] ワークフロー

ワークフロー	操作の説明
クラウドからの計画移行の実行	ターゲット クラウド サイトからローカル サイトに仮想マシンを移行する
クラウドからの実際のリカバリの実行	リモート クラウド サイトからローカル サイトにレプリケートされた仮想マシンをリカバリする
クラウドからのテスト クリーンアップの実行	リモート クラウド サイトからローカル サイトにレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリ結果をクリーンアップする
クラウドからのテスト リカバリの実行	リモート クラウド サイトからローカル サイトにレプリケートされた仮想マシンのテスト リカバリを実行する

vSphere Replication プラグインを使用するための前提条件

vSphere Replication プラグインを使用するには、使用環境が特定の要件を満たす必要があります。

- Orchestrator を使用して vSphere インベントリ内のオブジェクトを管理し、オブジェクトに対してワークフローを実行する前に、vCenter Server プラグインを構成し、Orchestrator と統合する vCenter Server との間の接続パラメータを定義する必要があります。vSphere 環境に対応するように Orchestrator を構成する方法の詳細については、『VMware vRealize Orchestrator のインストールと構成』ドキュメントの「vRealize Orchestrator の構成」セクションを参照してください。
- ターゲット サイトとの間のワークフローを実行する前に、[vSphere Replication] > [リモート サイト管理] の順に選択して、ターゲット サイトを使用可能なワークフローに登録していることを確認します。

リモート サイト管理ワークフロー

[リモート サイト管理] ワークフローを使用すると、ローカル サイトと、異なる vCenter Server が管理するリモート サイトまたはリモート クラウド サイトとの間の接続を構成できます。リモート サイトへのレプリケーション タスクを構成する前に、ローカル サイトとリモート サイトをペアリングする必要があります。

vCenter Server サイトとのペアリング ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトとリモート vCenter Server サイト間の接続を構成します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] - [ペアリング] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server サイトとのペアリング] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-9. [vCenter Server サイトとのペアリング] ワークフローの入力

入力		説明
ローカル サイト	ローカル サイト	ローカル vCenter Server サイト
	ローカル サイトの Lookup Service のアドレス	ローカルの Lookup Service のアドレス
リモート サイト	リモート サイトの Lookup Service のアドレス	リモートの Lookup Service のアドレス
	リモート ユーザー名	リモート vCenter Single Sign-On ユーザー
	パスワード	リモート vCenter Single Sign-On ユーザーのパスワード
	証明書の警告を無視	プロンプトなしでリモート サイトの証明書を受け入れます

クラウド サイトとのペアリング ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトとターゲット クラウド サイト間の接続を構成します。

クラウドへのレプリケーション タスクを設定する前に、vSphere 環境と、ご使用のクラウド組織に属する仮想データセンター間の接続を設定する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] - [ペアリング] の順に選択します。
- 4 [クラウド サイトとのペアリング] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-10. [クラウド サイトとのペアリング] ワークフローの入力

入力		説明
ローカル サイト	ローカル サイト	ローカル vCenter Server サイト
クラウド サイト	リモート クラウド API エンドポイントのアドレス	クラウド プロバイダの IP アドレス
	クラウド組織名	スタンドアロン組織名
	クラウド組織のユーザー名	クラウド ユーザーの認証情報
	パスワード	
	証明書の警告を無視	プロンプトなしでリモート サイトの証明書を受け入れます

vCenter Server サイトの登録ワークフロー

このワークフローは、リモート vCenter Server サイトのログイン認証情報を登録します。

開始する前に

ローカル サイトが vCenter Server サイトとペアリングされていることを確認します。[「vCenter Server サイトとのペアリング ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server サイトの登録] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-11. [vCenter Server サイトの登録] ワークフローの入力

入力		説明
サイト	サイト	ペアリングされているリモート vCenter Server サイトのアドレス
	ユーザー名	リモート SSO ユーザー
	パスワード	リモート SSO ユーザーのパスワード

クラウド サイトの登録ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトとペアリングされているクラウド サイトのログイン認証情報を登録します。

開始する前に

ローカル サイトがクラウド サイトとペアリングされていることを確認します。[「クラウド サイトとのペアリング ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [クラウド サイトの登録] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-12. [クラウド サイトの登録] ワークフローの入力

入力	説明
サイト	クラウド サイト
	ペアリングされているリモート クラウド サイト
	ユーザー名
	リモート クラウド サイトのユーザー
	パスワード
	リモート ユーザーのパスワード
	証明書の警告を無視
	プロンプトなしでリモートの証明書を受け入れます

スタンドアロン組織の登録ワークフロー

このワークフローは、クラウド組織のログイン認証情報を登録します。このワークフローでは、組織をローカル サイトとペアリングする必要はありません。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [スタンドアロン組織の登録] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-13. [スタンドアロン組織の登録] ワークフローの入力

入力	説明
クラウド組織の詳細	クラウドのアドレス
	リモート クラウド サイトのアドレス
	組織名
	クラウド組織の名前
	ユーザー名
	リモート クラウド サイトのユーザー
	パスワード
	リモート クラウド サイトのユーザーのパスワード
	証明書の警告を無視
	プロンプトなしでリモートの証明書を受け入れます

クラウド サイトの登録解除ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトとペアリングされているクラウド サイトの保存されたログイン認証情報を削除します。このワークフローを実行してもペアリングは切断されません。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。

- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [クラウド サイトの登録解除] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 登録解除するクラウド サイトを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-14. [クラウド サイトの登録解除] ワークフローの入力

入力	説明
サイト	クラウド サイト ペアリングされているリモート クラウド サイト

スタンドアロン組織の登録解除ワークフロー

このワークフローは、登録済みのクラウド組織の保存されているログイン認証情報を削除します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [スタンドアロン組織の登録解除] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 登録解除するスタンドアロン組織を選択して、[送信] をクリックします。

表 4-15. [スタンドアロン組織の登録解除] ワークフローの入力

入力	説明
サイト	登録解除対象の登録済みスタンドアロン組織 クラウド サイト上のスタンドアロン組織

vCenter Server サイトの登録解除ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトとペアリングされている vCenter Server サイトの保存されたログイン認証情報を削除します。このワークフローを実行してもペアリングは切断されません。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [リモート サイト管理] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server サイトの登録解除] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 登録解除する vCenter Server サイトを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-16. [vCenter Server サイトの登録解除] ワークフローの入力

入力	説明
サイト	サイト ペアリングされているリモート vCenter Server サイト

同期ワークフロー

同期ワークフローを使用すると、ローカル サイトとリモート vCenter Server またはクラウド サイト間でレプリケーションが構成されている仮想マシンのデータをレプリケートできます。

クラウドへのレプリケーションの完全同期ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して完全同期を実行します。

開始する前に

完全同期を実行する仮想マシンがパワーオン状態であることを確認します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのレプリケーションの完全同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-17. [クラウドへのレプリケーションの完全同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	完全同期を実行する、ターゲットクラウドサイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

vCenter Server へのレプリケーションの完全同期ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット vCenter Server サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して完全同期を実行します。

開始する前に

完全同期を実行する仮想マシンがパワーオン状態であることを確認します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server へのレプリケーションの完全同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

- 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-18. [vCenter Server へのレプリケーションの完全同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	完全同期を実行する、ターゲット vCenter Server サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドからのレプリケーションのオフライン同期ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対してオフライン同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [クラウドからのレプリケーションのオフライン同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-19. [クラウドからのレプリケーションのオフライン同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	リモート仮想データセンター サイト
	同期するレプリケーション
	ターゲットクラウド サイト
	オフライン同期を実行する、ターゲットクラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドへのレプリケーションのオフライン同期ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対してオフライン同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [クラウドへのレプリケーションのオフライン同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

- 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-20. [クラウドへのレプリケーションのオフライン同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	ローカル サイトからターゲットクラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

vCenter Server へのレプリケーションのオフライン同期ワークフロー

このワークフローは、ターゲット vCenter Server サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対してオフライン同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [vCenter Server へのレプリケーションのオフライン同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-21. [vCenter Server へのレプリケーションのオフライン同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	ターゲット vCenter Server への正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドからのレプリケーションの同期ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して差分同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [クラウドからのレプリケーションの同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

- 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-22. [クラウドからのレプリケーションの同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	リモート仮想データセンター サイト
	ターゲット クラウド サイト
同期するレプリケーション	差分同期を実行する、ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドへのレプリケーションの同期ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して差分同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [クラウドへのレプリケーションの同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-23. [クラウドへのレプリケーションの同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	差分同期を実行する、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

vCenter Server へのレプリケーションの同期ワークフロー

このワークフローは、ターゲット vCenter Server サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して差分同期を実行します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。
- [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [同期] の順に選択します。
- [vCenter Server へのレプリケーションの同期] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

- 5 同期するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-24. [vCenter Server へのレプリケーションの同期] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	同期するレプリケーション
	差分同期を実行する、ターゲット vCenter Server への正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

レプリケーションの構成ワークフロー

vSphere Replication プラグインの [レプリケーションの構成] ワークフローを使用すると、ローカル サイトとリモート vCenter Server またはクラウド サイト間の仮想マシンのレプリケーションを構成できます。

仮想マシンのレプリケーションを構成すると、vSphere Replication は初期構成タスクを開始します。初期構成タスクでは、ターゲット サイトにレプリカ仮想マシンが作成され、ソースとターゲット サイト間でデータ同期が実行されます。選択したワークフローのリカバリ設定で、複数の特定の時点 (MPIT) インスタンスを設定できます。

vSphere Replication は、最大で 24 個の仮想マシンのスナップショット インスタンスをターゲット サイトで保持します。

パワーオフ状態の仮想マシンのレプリケーションを構成することはできますが、データの同期は仮想マシンがパワーオンされたときに開始されます。ソース仮想マシンがパワーオフ状態のとき、レプリケーションは **Not active** ステータスになります。

レプリケーションの構成ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトから別の vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを構成します。

開始する前に

- vSphere Replication アプライアンスがソース サイトとターゲット サイトにデプロイされていることを確認します。
- Linux ゲスト OS を稼働している仮想マシンの静止を有効にするには、レプリケートする予定のすべての Linux マシンに最新バージョンの VMware Tools をインストールします。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの構成] の順に選択します。
- 4 [レプリケーションの構成] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-25. [レプリケーションの構成] ワークフローの入力

入力		説明
ソース	サイト	ローカル vSphere サイト
	ソースの仮想マシン	レプリケートする仮想マシン
ターゲット	サイト	リモート vSphere サイト
	ターゲット データストア	レプリケート先のリモート データストア
レプリケーション 設定	RPO (分単位)	リカバリ ポイントの目標 (分単位、デフォルト値は 240)
	ゲスト OS の静止	OS の静止を有効にするとデータの一貫性が向上しますが、RPO 時間が制限されます
	ネットワーク圧縮	レプリケーション データの圧縮を有効にするとネットワーク バンド幅が削減されますが、CPU 使用率が高くなります
	特定の時点のインスタンス	仮想マシンごとにサポートされるスナップショットの最大数は 24 です
	有効な特定の 時点	1 日あたりのインスタンス数 (日 数を掛けた結果が 24 を超えない こと)
	日数	スナップショットが保持される日数

クラウドへのレプリケーションの構成ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトから登録されているクラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを構成します。

仮想マシンがパワーオンされていない場合、レプリケーションは構成されますが、初期完全同期は仮想マシンがパワーオンされたときに完了します。レプリケーションが構成されている仮想マシンに対してこのワークフローを実行することはできません。

開始する前に

- vSphere 環境と仮想データセンター間で接続が構成されていることを確認します。クラウド サイトとのペアリング方法の詳細については、「[クラウド サイトとのペアリング ワークフロー](#)」を参照してください。
- 使用するクラウド サイトのログイン認証情報が登録されていることを確認します。「[クラウド サイトの登録ワークフロー](#)」を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの構成] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのレプリケーションの構成] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-26. [クラウドへのレプリケーションの構成] ワークフローの入力

入力		説明
ソース	サイト	ローカル vSphere サイト
	ソースの仮想マシン	レプリケートする仮想マシン
ターゲット	クラウド サイト	リモート クラウド サイト
	レプリケーション シードの使用	初期同期には、仮想マシン ディスク ファイルを使用します
	レプリケーション シードとして使用する、以前にインポートした vApp	インポートしたレプリケーション シードがある vApp または仮想マシン
レプリケーション設定	RPO (分単位)	リカバリ ポイントの目標 (分単位、デフォルト値は 240)
	ゲスト OS の静止	OS の静止を有効にするとデータの一貫性が向上しますが、RPO 時間が制限されます
	ネットワーク圧縮	レプリケーション データの圧縮を有効にするとネットワーク バンド幅が削減されますが、CPU 使用率が高くなります
	特定の時点のインスタンス	仮想マシンごとにサポートされるスナップショットの最大数は 24 です
	有効な特定の時点	1 日あたりのインスタンス数 (日数を掛けた結果が 24 を超えないこと)
	日数	スナップショットが保持される日数

クラウドからのレプリケーションの構成ワークフロー

このワークフローは、クラウド サイトからローカル サイトへの仮想マシンまたは vApp のレプリケーションを構成します。

仮想マシンがパワーオンされていない場合、レプリケーションは構成されますが、初期完全同期は仮想マシンがパワーオンされたときに完了します。レプリケーションが構成されている仮想マシンに対してこのワークフローを実行することはできません。

開始する前に

- vSphere 環境と仮想データセンター間で接続が構成されていることを確認します。クラウド サイトとのペアリング方法の詳細については、[「クラウド サイトとのペアリング ワークフロー」](#) を参照してください。
- 使用するクラウド サイトのログイン認証情報が登録されていることを確認します。[「クラウド サイトの登録ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの構成] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのレプリケーションの構成] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-27. [クラウドからのレプリケーションの構成] ワークフローの入力

入力		説明
ソース	クラウド サイト	リモート クラウド サイト
	ソースの vApp	レプリケートする vApp または仮想マシン
ターゲット	データストア	レプリケート先のローカル データストア
レプリケーション設定	RPO (分単位)	リカバリ ポイントの目標 (分単位、デフォルト値は 240)
	ゲスト OS の静止	OS の静止を有効にするとデータの一貫性が向上しますが、RPO 時間が制限されます
	ネットワーク圧縮	レプリケーション データの圧縮を有効にするとネットワーク バンド幅が削減されますが、CPU 使用率が高くなります
	特定の時点のインスタンス	仮想マシンごとにサポートされるスナップショットの最大数は 24 です
	有効な特定の時点	1 日あたりのインスタンス数 (日数を掛けた結果が 24 を超えないこと)
	日数	1 日に作成するスナップショットの数
		スナップショットが保持される日数

複数の仮想マシンの保護ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからリモート vSphere またはクラウド サイトへの複数の仮想マシンのレプリケーションを構成します。

選択した 1 台またはすべての仮想マシンがパワーオンされていない場合、レプリケーションは構成されますが、初期完全同期は仮想マシンがパワーオンされたときに完了します。このワークフローは、仮想マシンの配列に含まれるレプリケートされた仮想マシンに対して実行できますが、その仮想マシンのレプリケーションは再構成されません。仮想マシンの配列に含まれる、まだレプリケートされていない残りの仮想マシンは、レプリケーション用に構成されます。

開始する前に

- ローカル サイトと vCenter Server またはクラウド サイトとの間に接続が構成されていることを確認します。詳細については、[\[vCenter Server サイトとのペアリング ワークフロー\]](#) または [\[クラウド サイトとのペアリング ワークフロー\]](#) を参照してください。
- 使用するリモート vCenter Server またはクラウド サイトのログイン認証情報が登録されていることを確認します。[\[vCenter Server サイトの登録ワークフロー\]](#) または [\[クラウド サイトの登録ワークフロー\]](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの構成] の順に選択します。
- 4 [複数の仮想マシンの保護] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-28. [複数の仮想マシンの保護] ワークフローの入力

入力		説明
ソース	保護する仮想マシンを管理する vCenter Server	ローカル vCenter Server サイト
	ターゲット サイトのタイプを選択	ターゲット サイトのタイプ - リモート vCenter Server サイトまたはクラウド サイト
	レプリケートする仮想マシン	リモート サイトにレプリケートする仮想マシンの配列
認証情報ターゲット サイト	レプリケーションのターゲットとして使用するサイト	前の手順で選択したターゲット サイトのタイプに応じて、使用可能な vCenter Server またはクラウド サイトを選択します
	ユーザー名	選択したターゲット サイトの認証情報
	パスワード	
	証明書の警告を無視	プロンプトなしでリモート サイトの証明書を受け入れます
ターゲットの場所	ターゲット vCenter Server サイト	ターゲットが vCenter Server サイトの場合にレプリケート先となるデータストア
	ターゲットクラウド サイト	レプリケーション シードの使用 レプリケーション シードとして使用する、以前にインポートした vApp
レプリケーション 設定	ゲスト OS の静止	OS の静止を有効にするとデータの一貫性が向上しますが、RPO 時間が制限されます
	RPO (分単位)	リカバリ ポイントの目標 (分単位、デフォルト値は 240)
	ネットワーク圧縮	レプリケーション データの圧縮を有効にするとネットワーク バンド幅が削減されますが、CPU 使用率が高くなります
	特定の時点のインスタンス	仮想マシンごとにサポートされるスナップショットの最大数は 24 です
	有効な特定の 時点	1 日あたりのインスタンス数 (日数を掛けた結果が 24 を超えないこと)
	日数	スナップショットが保持される日数

クラウド レプリケーションの反転ワークフロー

このワークフローは、クラウド サイトでリカバリされた仮想マシンのレプリケーションを反転し、再構成します。

開始する前に

仮想マシンが **Recovered** 状態であり、ローカル vCenter Server サイトでパワーオフ状態であることを確認します。

手順

- Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- [ワークフロー] ビューをクリックします。

- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの構成] の順に選択します。
- 4 [クラウド レプリケーションの反転] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-29. [クラウド レプリケーションの反転] ワークフローの入力

入力	説明
レプリケーション	サイト
	レプリケーション
	ターゲット クラウド サイト
	選択したクラウド サイトとの間でレプリケートする仮想マシン

一時停止ワークフロー

[一時停止] ワークフローを使用すると、ソースとターゲット サイト間の仮想マシンのレプリケーションを一時停止できます。レプリケーションが一時停止されると、すべての同期呼び出しがブロックされ、ソースとターゲット サイト間でデータが同期されません。レプリケーションは構成解除されず、再開することができます。

vCenter Server へのレプリケーションの一時停止

このワークフローは、ローカル サイトからリモート vCenter Server サイトへの仮想マシンのレプリケーションを一時停止します。

開始する前に

ローカル サイトからリモート vCenter Server サイトへのレプリケーションが構成されていることを確認します。[「レプリケーションの構成ワークフロー」](#) または [「複数の仮想マシンの保護ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [一時停止] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server へのレプリケーションの一時停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 レプリケーションを一時停止する仮想マシンを選択して、[送信] をクリックします。

クラウドへのレプリケーションの一時停止ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからリモート クラウド サイトへの仮想マシンのレプリケーションを一時停止します。

開始する前に

ローカル サイトからリモート クラウド サイトへのレプリケーションが構成されていることを確認します。[「クラウドへのレプリケーションの構成ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [一時停止] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのレプリケーションの一時停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-30. [クラウドへのレプリケーションの一時停止] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	一時停止するレプリケーション レプリケーションを一時停止する、レプリケート先のクラウド サイトの仮想マシン

クラウドからのレプリケーションの一時停止ワークフロー

このワークフローは、リモート クラウド サイトからローカル サイトへの vApp または仮想マシンのレプリケーションを一時停止します。

開始する前に

リモート クラウド サイトからローカル サイトへのレプリケーションが構成されていることを確認します。[「クラウドからのレプリケーションの構成ワークフロー」](#) を参照してください。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [一時停止] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのレプリケーションの一時停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-31. [クラウドからのレプリケーションの一時停止] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	リモート仮想データセンター サイト リモート クラウド サイト
一時停止するレプリケーション	レプリケーションを一時停止する、レプリケート元のクラウド サイトの仮想マシンまたは vApp

再開ワークフロー

[再開] ワークフローを使用すると、ローカル サイトとリモート vCenter Server またはクラウド サイトとの間で構成されている一時停止されたレプリケーションを再開できます。

vCenter Server へのレプリケーションの再開ワークフロー

このワークフローは、ターゲット vCenter Server サイトへの一時停止した正方向レプリケーションを再開します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [再開] の順に選択します。
- 4 [vCenter Server へのレプリケーションの再開] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 再開するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-32. [vCenter Server へのレプリケーションの再開] ワークフローの入力

入力	説明
レプリケーション	再開するレプリケーション
レプリケーションを再開する、レプリケート先の vSphere サイトの仮想マシン	

クラウドへのレプリケーションの再開ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトへの一時停止した正方向レプリケーションを再開します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [再開] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのレプリケーションの再開] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 再開するレプリケーションを選択して、[送信] をクリックします。

表 4-33. [クラウドへのレプリケーションの再開] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	再開するレプリケーション
レプリケーションを再開する、レプリケート先のクラウド サイトの仮想マシン	

クラウドからのレプリケーションの再開ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからの一時停止した逆方向レプリケーションを再開します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。

- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [再開] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのレプリケーションの再開] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-34. [クラウドからのレプリケーションの再開] ワークフローの入力

入力	説明
共通パラメータ	リモート仮想データセンター サイト リモート クラウド サイト
再開するレプリケーション	レプリケーションを再開する、レプリケート元のクラウド サイトの仮想マシン

レプリケーションの停止ワークフロー

[レプリケーションの停止] ワークフローを使用すると、ローカル サイトとリモート vCenter Server またはクラウド サイト間に構成されている仮想マシンのレプリケーションを停止できます。レプリケーションを停止すると、レプリケーションが構成解除され、ターゲットの場所のレプリケートされたデータが削除されます。

レプリケーションの停止ワークフロー

このワークフローは、ターゲット vCenter Server サイトへの仮想マシンの正方向レプリケーションを停止します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの停止] の順に選択します。
- 4 [レプリケーションの停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-35. [レプリケーションの停止] ワークフローの入力

入力	説明
サイト	リモート vCenter Server サイト
レプリケーション	レプリケーションを停止する仮想マシン

クラウドへのレプリケーションの停止ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションを停止します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。

- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの停止] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのレプリケーションの停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-36. [クラウドへのレプリケーションの停止] ワークフローの入力

入力	説明
クラウド サイト	リモート ターゲット クラウド サイト
レプリケーション	正方向レプリケーションを停止する仮想マシン

クラウドからのレプリケーションの停止ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションを停止します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [レプリケーションの停止] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのレプリケーションの停止] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-37. [クラウドからのレプリケーションの停止] ワークフローの入力

入力	説明
クラウド サイト	リモート クラウド サイト
レプリケーション	逆方向レプリケーションを停止する仮想マシン

クラウドへのリカバリ ワークフロー

[クラウドへのリカバリ] ワークフローを使用すると、ローカル サイトからリモート クラウド サイトへの計画移行、テスト、および実際のリカバリを実行できます。各ワークフローは、一度に 1 台の仮想マシンに対して実行されます。

クラウドへのテスト リカバリの実行ワークフロー

このワークフローは、クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して、テスト リカバリをローカル サイトで実行します。

リカバリは、ローカル サイトでテストされます。ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。このワークフローを実行する前に、以前のテスト リカバリ結果がクリーンアップされていることを確認します。ワークフローが終了すると、仮想マシンのテストステータスが変更されます。計画移行または実際のリカバリを実行する前に、結果をクリーンアップする必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのテスト リカバリの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-38. [クラウドへのテスト リカバリの実行] ワークフローの入力

入力		説明
レプリケーション	サイト	テスト リカバリの実行先のターゲット クラウド サイト
	レプリケーション	テスト リカバリを実行する、正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン
リカバリ設定	リカバリされた仮想マシンをパワーオン	リカバリされた仮想マシンの電源状態
	最新の変更の同期	RPO の期間内での仮想マシンに対する変更のオンライン同期

クラウド サイトでのテスト リカバリの実行ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して、テスト リカバリをリモート クラウド サイトで実行します。

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトで実行されます。このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して実行する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウド サイトでのテスト リカバリの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-39. [クラウド サイトでのテスト リカバリの実行] ワークフローの入力

入力		説明
リカバリ設定	レプリケーション	テスト リカバリを実行する、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン
	最新の変更の同期	RPO の期間内での仮想マシンに対する変更のオンライン同期
	リカバリ済み仮想マシンをパワーオンします	リカバリされた仮想マシンの電源状態

クラウドへのテスト クリーンアップの実行ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンのローカル サイトでのテスト リカバリ結果をクリーンアップします。

このワークフローでは、実行前に仮想マシンのテスト ステータスが確認されます。このワークフローは、リカバリがテストされている仮想マシンに対して実行する必要があります。ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドへのテスト クリーンアップの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-40. [クラウドへのテスト クリーンアップの実行] ワークフローの入力

入力		説明
サイト	クラウド サイト	テスト リカバリの実行先のターゲット クラウド サイト
レプリケーション	レプリケーション	ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウド サイトでのテスト クリーンアップの実行ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンのリモート クラウド サイトでのテスト リカバリ結果をクリーンアップします。

開始する前に

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトで実行されます。このワークフローを実行する前に、ターゲット クラウド サイトで仮想マシンのテスト リカバリを実行する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 3 [クラウド サイトでのテスト クリーンアップの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。

4 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-41. [クラウド サイトでのテスト クリーンアップの実行] ワークフローの入力

入力	説明
レプリケーション	ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドへの計画移行の実行ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して計画移行を実行します。

ローカル サイトからターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。

開始する前に

移行する仮想マシンのテスト リカバリを実行している場合は、結果をクリーンアップしたことを確認します。仮想マシンのテスト ステータスは vSphere Replication ユーザー インターフェイスで確認できます。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドへの計画移行の実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-42. [クラウドへの計画移行の実行] ワークフローの入力

入力	説明	
レプリケーション	クラウド サイト	仮想マシンの移行先のターゲット クラウド サイト
	レプリケーション	クラウド サイトに移行する仮想マシン
リカバリ設定	リカバリされた仮想マシンをパワーオン	移行が完了した後のリカバリされた仮想マシンの電源状態
	ゲストシャットダウン (VMware Tools が必要)	移行が完了した後のソース仮想マシンの電源状態

クラウドへの実際のリカバリの実行ワークフロー

このワークフローは、ローカル サイトからターゲット クラウド サイトに仮想マシンをリカバリします。

ターゲット クラウド サイトへの正方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。

- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドへのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドへの実際のリカバリの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-43. [クラウドへの実際のリカバリの実行] ワークフローの入力

入力	説明
リカバリ設定	レプリケーション
	クラウド サイトにリカバリする仮想マシン
	リカバリ済み仮想マシンをパワーオンします
	リカバリされた仮想マシンの電源状態

クラウドからのリカバリ ワークフロー

[クラウドからのリカバリ] ワークフローを使用すると、リモート クラウド サイトからローカル サイトへの計画移行、テスト、および実際のリカバリを実行できます。各ワークフローは、一度に 1 台の仮想マシンに対して実行されます。

クラウドからのテスト リカバリの実行ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンに対して、テスト リカバリをローカル サイトで実行します。

リカバリは、ローカル サイトでテストされます。

開始する前に

- ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。
- このワークフローを実行する前に、以前のテスト リカバリ結果がクリーンアップされていることを確認します。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドからのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのテスト リカバリの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-44. [クラウドからのテスト リカバリの実行] ワークフローの入力

入力	説明
レプリケーション	クラウド サイト
	テスト リカバリの実行元のターゲット クラウド サイト
	レプリケーション
	テスト リカバリを実行する、逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

表 4-44. [クラウドからのテスト リカバリの実行] ワークフローの入力 (続き)

入力	説明	
リカバリ設定	仮想マシン フォルダ	仮想マシン リカバリをテストする、ローカル vCenter Server 上の仮想マシン フォルダ
	リソース プール	仮想マシン リカバリをテストする、ローカル vCenter Server 上のリソース プール
	最新の変更の同期	RPO の期間内での仮想マシンに対する変更のオンライン同期
	リカバリ済み仮想マシンをパワーオンします	リカバリされた仮想マシンの電源状態

次に進む前に

仮想マシンのテスト ステータスが変更されます。計画移行または実際のリカバリを実行する前に、結果をクリーンアップする必要があります。

クラウドからのテスト クリーンアップの実行ワークフロー

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンのローカル サイトでのテスト リカバリ結果をクリーンアップします。

このワークフローでは、実行前に仮想マシンのテスト ステータスが確認されません。このワークフローは、リカバリがテストされていない仮想マシンに対しても実行することができます。リモート クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。

開始する前に

- [「クラウドからのテスト リカバリの実行ワークフロー」](#)

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドからのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドからのテスト クリーンアップの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-45. [クラウドからのテスト クリーンアップの実行] ワークフローの入力

入力	説明	
サイト	クラウド サイト	テスト リカバリの実行元のターゲット クラウド サイト
レプリケーション	レプリケーション	ターゲット クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシン

クラウドからの計画移行の実行ワークフロー

このワークフローは、リモート クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンの計画移行を実行します。

リモート クラウド サイトからローカル サイトへの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。

開始する前に

移行する仮想マシンのテストリカバリを実行している場合は、結果をクリーンアップしたことを確認します。仮想マシンのテスト ステータスは vSphere Replication ユーザー インターフェイスで確認できます。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。
- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドからのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドからの計画移行の実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-46. [クラウドからの計画移行の実行] ワークフローの入力

入力		説明
レプリケーション	クラウド サイト	仮想マシンの移行元のターゲット クラウド サイト
	レプリケーション	ローカル サイトに移行する仮想マシン
リカバリ設定	仮想マシン フォルダ	仮想マシンの移行先のローカル vCenter Server 上の仮想マシン フォルダ
	リソース プール	仮想マシンの移行先のローカル vCenter Server 上のリソース プール
	リカバリされた仮想マシンをパワーオン	移行が完了した後のリカバリされた仮想マシンの電源状態
	ゲスト シャットダウン (VMware Tools が必要)	移行が完了した後のソース仮想マシンの電源状態

クラウドからの実際のリカバリの実行

このワークフローは、ターゲット クラウド サイトからローカル サイトに仮想マシンをリカバリします。

ターゲット クラウド サイトからの逆方向レプリケーションが構成されている仮想マシンを選択する必要があります。リカバリされた仮想マシン用に、同じデータセンターにある仮想マシン フォルダとリソース プールを選択する必要があります。

手順

- 1 Orchestrator クライアントに管理者としてログインし、左上隅の [設計] または [実行] を選択します。

- 2 [ワークフロー] ビューをクリックします。
- 3 [ライブラリ] - [vSphere Replication] - [クラウドからのリカバリ] の順に選択します。
- 4 [クラウドからの実際のリカバリの実行] ワークフロー要素を右クリックして、[ワークフローの開始] を選択します。
- 5 ウィザードのプロンプトの手順を実行してください。

表 4-47. [クラウドからの実際のリカバリの実行] ワークフローの入力

入力		説明
レプリケーション	クラウド サイト	仮想マシンのリカバリ元のターゲット クラウド サイト
	レプリケーション	ローカル サイトにリカバリする仮想マシン
リカバリ設定	仮想マシン フォルダ	仮想マシンのリカバリ先のローカル vCenter Server 上の仮想マシン フォルダ
	リソース プール	仮想マシンのリカバリ先のローカル vCenter Server 上のリソース プール
	リカバリされた仮想マシンをパワーオン	リカバリされた仮想マシンの電源状態